

●施策名

【施策4】望ましい勤労観・職業観をはぐくみます

(関連指標：指標27～指標31 (P55))

- i 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
- ii 職場体験活動の推進
- iii インターンシップ等の推進
- iv 専門高校における職業教育の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進

- ・ 小学校における職場見学、中学校における職場体験活動等を推進し、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させています。
- ・ 高等学校における職業等に関する体験活動や研修会の開催等、キャリア教育の取組を推進し、主体的な職業選択の能力や高い職業意識を育成しています。
- ・ スポーツに関わる専門性の高い講義や福祉分野で活躍する人材に必要な福祉マインドの育成を図るため、大学等と連携した講座を実施しています。

ii 職場体験活動の推進

- ・ 市町村教育委員会及び各学校に対して、キャリア教育の意義等について啓発し、小・中学校における職場見学や職場体験活動等を促進しています。



職場体験活動の様子

iii インターンシップ等の推進

- ・ 高等学校の医学部進学希望生徒に対し、最新の医学や地域医療の実情を理解させ、医学や地域医療に対する関心を高めることを通じて、地域医療に貢献できる人づくりを推進しています。
- ・ 勤労観・職業観を育成し、早期の進路選択や離職率の低下に資するよう、企業現場等での職場実習の実施を推進しており、5, 234名の生徒が職場実習を体験しています。
- ・ 県内各地区に就職促進支援員を配置し、各高等学校及び公共職業安定所との連携を図りながら、就職希望生徒への情報提供や面談等を実施することにより、各高等学校における就職指導を充実させています。また、求人開拓を推進し、高校生の就職希望が実現するよう支援しています。平成25年度の求人開拓数は3, 354件11, 287人で、就職内定率は99.0%でした。

iv 専門高校における職業教育の推進

- ・ 農業・工業・商業高等学校30校において、生徒の実践的な知識や技能の向上を図るとともに、地域に定着し、地域産業を担う人づくりのため、職業教育を推進しています。
- ・ モデル地区において、小・中・高等学校が連携し、小・中学生に専門高校の取組を体験させることなどにより、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進しています。



企業の方から指導を受ける生徒

●問題点・改善等が必要な項目

- ① キャリア教育の推進
 - ・ 地域の関係機関と協働したキャリア教育の推進。
- ② インターンシップ等の推進
 - ・ 望ましい勤労観・職業観の育成に向け、発達段階に応じた系統的なキャリア教育の充実。
- ③ 専門高校における職業教育の推進
 - ・ 地域企業との連携による共同課題研究の成果を地域の方々に理解していただく取組の充実。

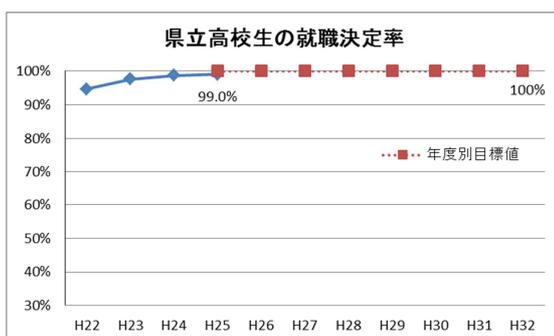
●取組の方向性

- ① キャリア教育の推進
 - ・ 児童生徒が自己の在り方や生き方について自覚を深め、社会に貢献しようとする態度を身につけ、将来充実した職業生活を送ることができるようにするため、関係機関との連携した計画的、継続的なキャリア教育を推進します。
- ② インターンシップ等の推進
 - ・ 地域産業の振興を担う人づくりのために、関係機関と連携したインターンシップや見学会を通じた動機付けを行うとともに、今後とも職業教育の推進を図ります。
- ③ 専門高校における職業教育の推進
 - ・ 成果発表会、各種教育研究会等における発表及び各校のホームページへの掲載などを通して、取組成果の普及を図ります。

●主な指標の状況

・ 指標 1
 県立高校生の就職決定率（県立高等学校全日制・定時制課程）

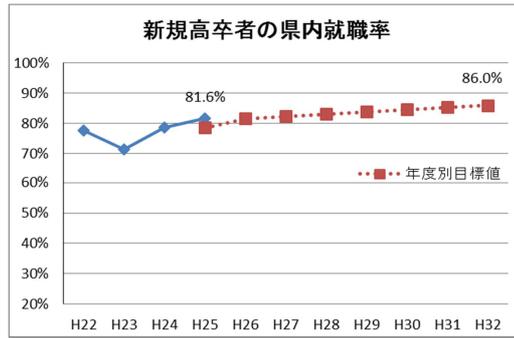
現況値	年度別目標値	評価
99.0%	100%	おおむね順調



- ① 評価の理由
 現況値が高水準で推移しているため。
- ② 今後の取組
 各高等学校における就職指導を充実させるとともに、高校生が希望する就職の実現を図る。

・指標 2
新規高卒者の県内就職率（県立・私立高等学校全日制・定時制課程）

現況値 81.6% 年度別目標値 78.6% 評価 順調

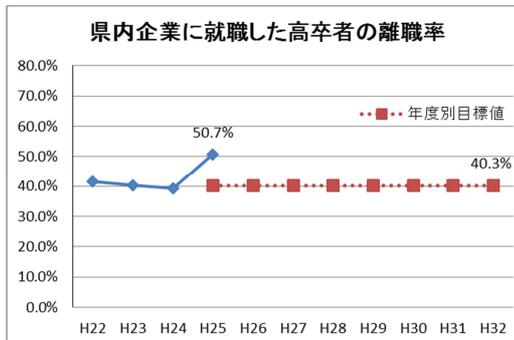


① 評価の理由
現況値が目標値を達成しており、従前からの改善も見られ、震災前の水準も上回っているため。

② 今後の取組
職業安定所や就職支援員等が連携して取り組むとともに、各高等学校における就職指導を充実させ、高校生が希望する就職の実現を図る。

・指標 3
県内企業に就職した高卒者の離職率（県立・私立高等学校全日制・定時制課程）

現況値 50.7% 年度別目標値 40.3%以下 評価 順調ではない

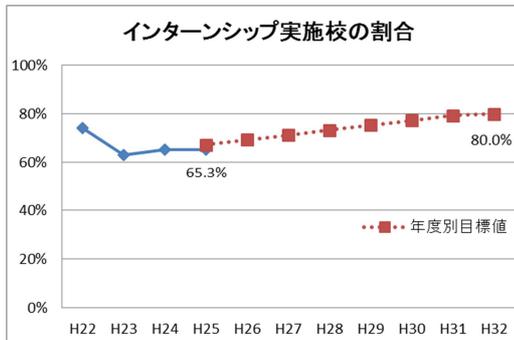


① 評価の理由
離職率が目標値よりも高く、前年度からの改善も見られないため。

② 今後の取組
離職率の改善に向けて、インターンシップの見直しを図る等、一定の求人の確保、職場定着、キャリア教育の充実に努めていく。

・指標 4
インターンシップ実施校の割合（県立高等学校全日制・定時制課程）

現況値 65.3% 年度別目標値 67.3% 評価 おおむね順調



① 評価の理由
目標値には達していないが、震災以後低下した数値から回復傾向にあるため。

② 今後の取組
早期の進路選択や離職率の低下に資するよう、企業現場等での職場実習を今後とも推進していく。